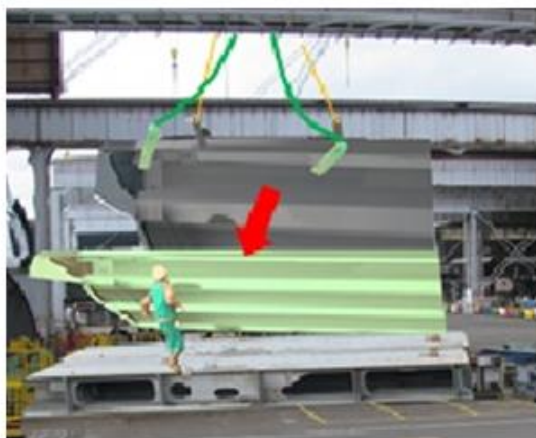


③飛来落下

吊りピースの溶接が不十分な状態で吊り上げたためピースが破断し吊り荷が落下

発生状況



コルゲートの反転作業中、仮付け状態の吊りピースが破断し、落下した衝撃で跳ね飛ばした他の部材が作業者を直撃

原因



防止対策

- ✓ 吊りピースが仮付け状態であった
- ✓ 玉掛け者が吊り上げる前にピースの溶接状態を確認しなかった
- ✓ 吊りピース溶接後のチェック体制ができていなかった



- ✓ 吊りピースの溶接後、確認マークを入れる
- ✓ 玉掛けする前に吊りピースの溶接状態を確認する
- ✓ 吊りピースの溶接基準の整備とチェック体制の確立



POINT!

吊りピースの溶接状態を事前に確認すること！



DATA

発生年月日
2010.06.11

発生場所

ブロック
組立工場

作業名・作業内容

ブロック
反転作業

死傷者名

脳挫傷

職種

運搬職

社/協

社員

年齢

50才

経験年数

25年

047

- ③ 倒れ止めのピースやつかえ棒等の
取付は、必ず角巻溶接を行う。
- ④ 部材の仮止め溶接の端部は、
必ず角巻溶接を行う。



角巻き溶接

